

坪谷小学校（東郷学園校区）

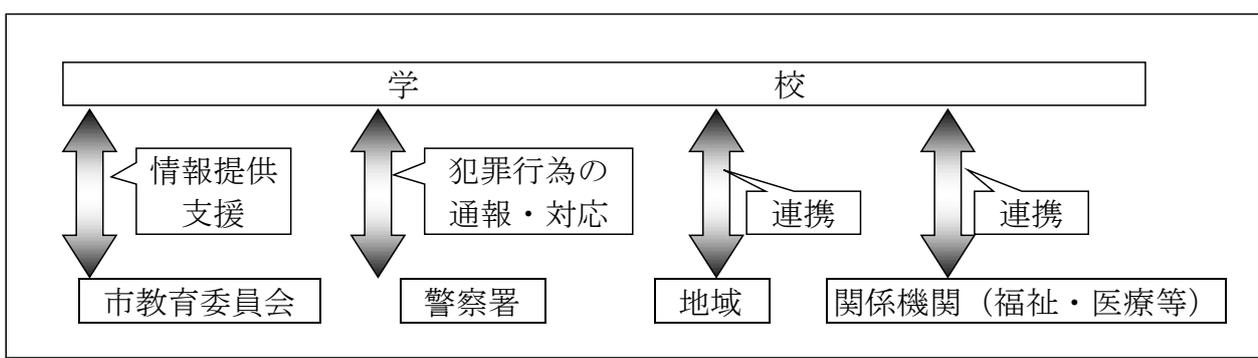
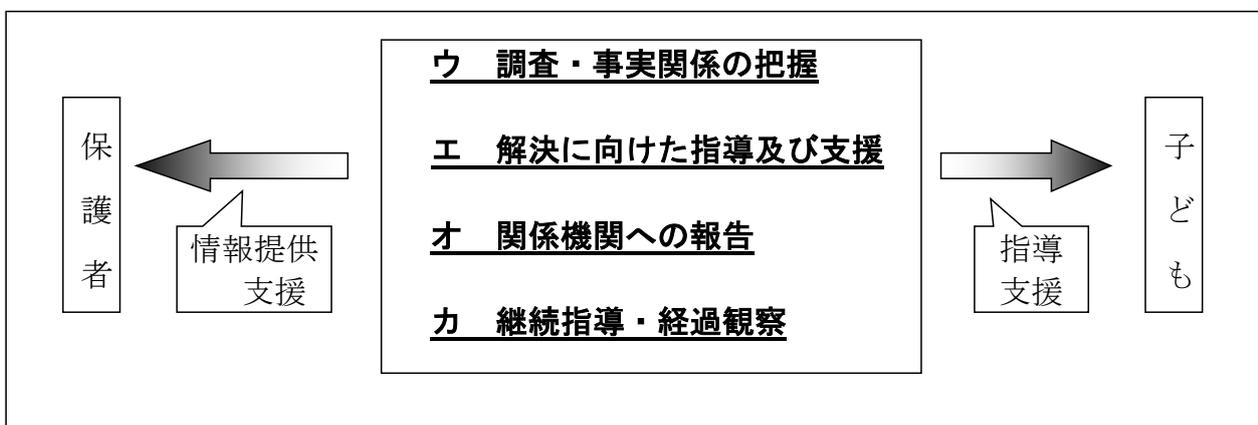
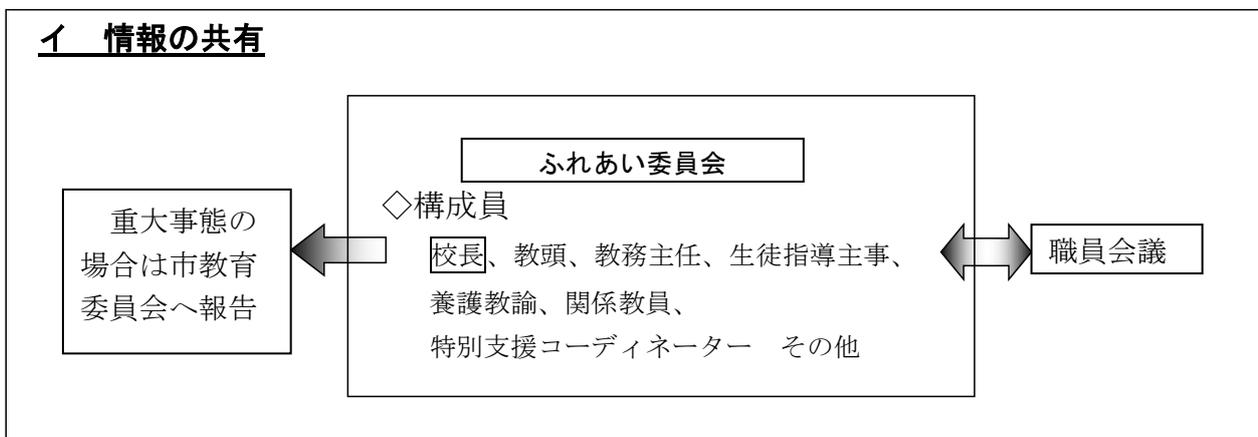
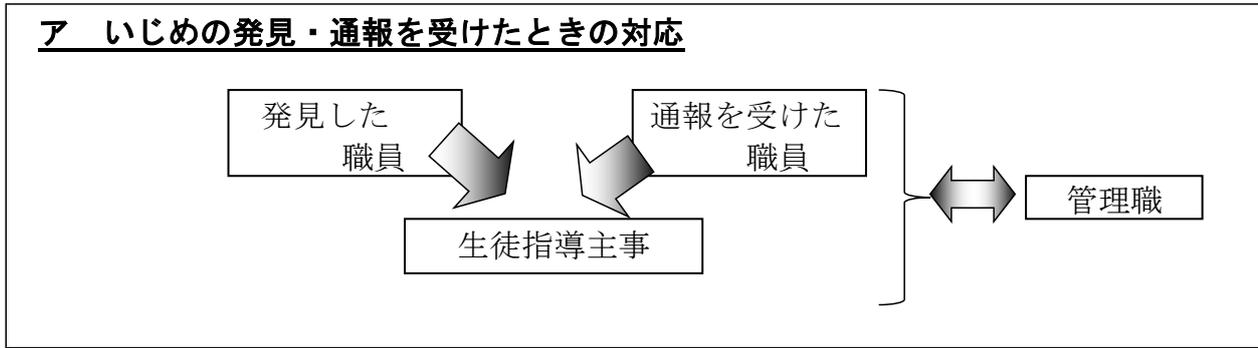
きずなプログラム（学校いじめ防止プログラム）

学校全体で組織的・計画的に取り組み、年度当初に組織体制を整えると同時に、年間の計画を立てて、いじめの未然防止に取り組みます。

		項 目	時 期	
絆づくり等のための措置	子どもが主体の活動	○ 朝の清掃ボランティア活動の推進	通年	
		○ 縦割り清掃活動の実施	通年	
		○ 学級活動等での話し合い活動の実施	毎月 1 回程度	
		○ 児童委員会活動の主体的活動の推進	通年	
		○ 特別活動等における相談活動の推進	通年	
		○ 地域高齢者への手紙	9 月（運動会）	
		○ 坪谷サロン等地域の方々との交流活動	年間 5 回程度	
	教職員が主体の活動	○ 一人一人の実態に応じたわかる授業の展開	通年	
		○ 職員相互の授業研究会の実施	年間 3 回程度	
		○ 教育相談の充実	通年	
		○ 教科や学級活動等を中心にした人権教育の時間設定	年 3 回（7 月、12 月、2 月） ※教科（単元計画に基づく）	
		○ 生徒指導研修の充実	年 3 回	
		○ P T A 総会での学校の方針説明	4 月	
		○ 学校公開の実施	学校参観日に合わせて	
		○ 参観日の学級懇談における啓発	学校参観日に合わせて	
		○ 東郷学園との合同学習	2 月	
		いじめの未然防止の措置	○ 子どもの発する具体的なサインの作成と共有 ※参考資料（別紙 2、3）	通年
			○ なかよしアンケート（記名式）の実施	毎月
			○ ふれあい委員会における共通理解と対策	毎月
○ 無言清掃のまち『ひゅうが』	毎日			
○ 職員会議での情報の共有	通年			
○ 進級時の情報の確実な引き継ぎ	4 月			
○ 少人数のよさを生かした教育活動の展開	通年			

※ 計画を作成するに当たっては、教職員の研修や子どもへの指導、地域や保護者との連携などに留意し、いじめ未然防止の観点から、絆づくり対策を推進していきます。

いじめに対する措置（緊急時の組織的対応）



坪谷小学校（東郷学園校区）

1 いじめられた子どものサイン

いじめられた子どもは自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で子どもを観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場 面	サ イ ン
登校時 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。 ○ 教職員と視線が合わず、うつむいている。 ○ 体調不良を訴える。 ○ 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。 ○ 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。
授業中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健室・トイレに行くようになる。 ○ 教材等の忘れ物が目立つ。 ○ 机周りが散乱している。 ○ 決められた座席と異なる席に着いている。 ○ 教科書・ノートに汚れがある。 ○ 教職員や子どもの発言などに対して、突然個人名が出される。
給食 休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食を教室の自分の席で食べない。 ○ 用のない場所にいることが多い。 ○ ふざけ合っているが表情がさえない。 ○ 衣服の汚れ等がある。 ○ 一人で清掃している。
放課後等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。 ○ 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。

2 いじめた子どものサイン

いじめた子どもがいることに気が付いたら、積極的に子どもの中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サ イ ン
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室等において仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。 ○ ある子どもにだけ、周囲が異常に気を遣っている。 ○ 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。 ○ 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の子どもがいる。

1 教室での子どものサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

サ イ ン
<input type="radio"/> 嫌なあだ名が聞こえる。 <input type="radio"/> 席替えなどで近くの席になることを嫌がる。 <input type="radio"/> 何か起こると特定の子どもの名前が出る。 <input type="radio"/> 筆記用具等の貸し借りが多い。
<input type="radio"/> 壁等にいたずら、落書きがある。 <input type="radio"/> 机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭での子どものサイン

家庭でも多くのサインを出している。子どもの動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

サ イ ン
<input type="radio"/> 学校や友人のことを話さなくなる。 <input type="radio"/> 友人やクラスの不平・不満を口にすることが多くなる。 <input type="radio"/> 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。 <input type="radio"/> 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。 <input type="radio"/> 受信したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりする。 <input type="radio"/> 不審な電話やメールがある。 <input type="radio"/> 遊ぶ友達が急に変わる。 <input type="radio"/> 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
<input type="radio"/> 理由のはっきりしない衣服の汚れがある。 <input type="radio"/> 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。 <input type="radio"/> 登校時刻になると体調不良を訴える。 <input type="radio"/> 食欲不振・不眠を訴える。
<input type="radio"/> 学習時間が減る。 <input type="radio"/> 成績が下がる。
<input type="radio"/> 持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。 <input type="radio"/> 自転車がよくパンクする。 <input type="radio"/> 家庭の品物、金銭がなくなる。 <input type="radio"/> 大きな額の金銭を欲しがる。